

2019年度事業報告書

2019年6月1日から2020年5月31日まで

特定非営利活動法人Social Change Agency

1.事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
ソーシャルワーカーの社会的認知度向上プロジェクト事業	後述	随時	都内	1名	約3400名	10
ソーシャルワーカーによる学び創出コミュニティプロジェクト事業	後述	随時	都内	7名	約850名	334
ソーシャル・リサーチ・プロジェクト事業	本年度は実施せず					
ソーシャルアクション・サポート事業	後述	随時	関東	5名	8団体	234

2.事業の成果

(1).ソーシャルワーカーの社会的認知度向上プロジェクト事業

①メールマガジンの配信

1)登録者数

- ・新規登録者約500名
- ・登録者数総数は3400名超

2)内容

- ・ソーシャルワークに関する知見の共有や、ソーシャルワーカーという職業の広報に努めた。

3)他団体への開放

自組織だけではなく、他団体のイベント告知や職員採用などにおいてメールマガジンを活用いただくことも機会も増えた。

4)以下実際の配信メール（画像）

ソーシャルワーク・タイムズ vol.238 2019.9.19 [SCA]

SCA養成プログラム単発参加申込実施中です
<https://sca2019.pearl-x.com/>

目次

・NPO法人Social Change Agencyの学習日記(2) Learningを軸としたコミュニティ

・イベントインフォメーション

・書籍紹介

・求人情報

NPO法人OVA 相談員（常勤・非常勤）募集！

・掲載後記

*本号は約5000字です。現在読者数（2013.12.1-）は3012名です。

・Social Change Agencyの学習日記(2) Learningを軸としたコミュニティ

Learning Creatorの[]です。今回は、SCAが運営するコミュニティを紹介しながら、背景となる思想もお伝えできればと思います。キーボードを叩いています（カチャカチャどなたでも参加可能なものもありますので、気になるものがあればぜひご参加も検討してみてください！

続きはこちらから

<https://note.mu/nancyoham/n/n6033829d8b7e>

・イベントインフォメーション

・9/22（日）10:00～17:00 大阪PSW協会で[]が登壇します

<https://www.osaka-psw.org/%E7%A0%94%E4%BF%AE%E8%83%85%E5%A0%B1/>

・9/24（火）

第2回バブリテックスエア+ポスト申請主義〜テクノロジーで手のひらに全ての福祉を～[]が登壇します。テクノロジーは申請主義に対して何ができるのか？ぜひ一緒に考えてみてください。お待ちしております。

(2).ソーシャルワーカーによる学び創出コミュニティプロジェクト事業

①「Social Change Agent養成プログラム」第3期目を実施

1)参加者数

一般参加者も含め、延べ186名の参加者を得た。

2)選抜生の成果

5名の選抜生が、各々の所属機関における/またはソーシャルワーカーとして自身が課題意識を有している対象に対するアクションプランを作成した。現在、実行中のもの、計画中のものがあるが、高校で働く選抜生が企画した高校生向けの福祉課題を学び解決策を考える企画は助成財団から助成を得るなどして2020年度の実施に向けて準備をすすめている。

3)プログラムを通じた行政/他機関連携

プログラムの一部を文京区、文京区社会福祉協議会による「他機関による包括的相談支援体制の構築」事業に対して提供し、プログラム最終日に文京区の地域課題に焦点を当てた社会資源開発プランを構築する時間を設け、複数のプランニングがなされた。

4)参加者のフォローアップ

2017年度の第1期からの選抜受講生を対象としたネットワーキングを機会づくりを行った。

「7/12（金）第1回ラーニングバー ～自己覚知の旅～」

6)参加者の声（前年度の事業報告書に掲載できなかったため本年度に記載）

■■■■さん（行政機関勤務）

SCAには元々現状の社会への問題意識から、ソーシャルアクションをやりたい！という気持ちが強かったために参加しました。昨年度の1年間参加してみての感想は、「とにかく参加してよかった！！！」ということに尽きます。笑

SCAでは実際にソーシャルアクションをされている方のお話を聞けることはもちろん、ソーシャルアクションを行うために重要なシステム思考やデザイン思考、メッセージの伝え方など、ほかではなかなか学ぶことのできない様々なことを学ぶことができました。

また、選抜生同士でのリフレクション(振り返り)や■■■■さんとの1on1(面談)を行うことで、自身の考えや新たな学びについて深められ、自分では意識していなかった自身の一面についても改めて発見することができました。

でも1番大きかったのは、課題意識を共有でき、たくさんの刺激を与えてくれる仲間と出会えたことです。

実際に職場でアクションを起こした仲間、職場外でネットワークをつくって動き出している仲間…。自分が劣等感を感じるほど、活動的で前向きな仲間と出会えたことで、自身の今後についても大きな刺激を受けました。

ソーシャルアクションは1人ではなく、多くの仲間を巻き込んで行なっていくことを改めて感じました。ここで出会った仲間は、お互いを高め合いながら、なにか新しいことを一緒に始められるのではないかとワクワクできるような存在です。選抜生でない方ともプログラムを通して様々な話をさせてもらえました。

■■■■さん（母子援施設勤務）

【福祉分野に捉われないこと】

プログラムでは、福祉分野の実践から学ぶだけでなく、「システム思考」「デザイン思考」「コミュニケーション・オーガニゼーション」といった学びの時間をいただいた。日々の対人援助の仕事で感覚的に考

えていたり、選び取っていたりすることが、いかに多かったのかを気付かされる体験だった。自分の想いや考えを、どう整理するのか、どう深掘するのか、どう伝えるのか、そしていかに分かち合うのか。日常の出来事をただの“体験”として自分の内の中で終わらせることから脱するためのアイデアがたくさん詰め込まれていたプログラムであったと思う。

【希望を発見する思考と方法】

「冰山モデル」はこのプログラムの中で、一貫して使われていた。ある「出来事」には、長い時間軸でみると繰り返されている「パターン」があり、それを生み出し続ける「構造」が存在する。そしてその「構造」は“思い込み”や“意識的・無意識的な前提”である「メンタル・モデル」によって成り立っている。「冰山モデル」ではこの枠組みをつかって「出来事」の背景にあるものを分析し、そこから解決のためのヒントを導き出す。

プログラムはこの「冰山モデル」からはじまった。プログラム後のリフレクションの時間にも、マインドモデルを認識するための問いの発信をする練習を繰り返してきた。継続してこのモデルを応用していく中で、自分が課題としていることは、構造的な問題からくるのか、それともマインドモデルとしての問題なのかを意識的に考えるようになった。

「できない」と嘆くのもなく、それを誰かや何かのせいにするのもなく、「いや、ここのポイントを変えたらどうなるだろう」という想像的/創造的発想に転じていく。「変わらない」「変えられない」と思っていたことの“枠の外側”に目を向けること。そこにSocial actionにつながるエネルギーの源があるのだろう。SCAでの学びを通して、諦めるのではなく、その状況の中でも必ず道はあるという希望を発見する思考を鍛えていただいた。ここでの学びをいかし、母子生活支援施設の現場で、利用者の状況だけでなく、関係機関や制度についても積極的に問いを持って、お母さんや子どもたちにとっての最善を実現できるようにActionを起こしていきたい。

■さん（クリニック勤務）

私がSCA選抜生にチャレンジしようと思った理由は3つあります。

1つは、自分がソーシャルワーカーとして、どのくらいのレベルに達しているのかを確認する、所謂、ソーシャルワークの異種格闘技的な場を求めていること。2つ目は、■さんやスタッフの方々に実際にお会いした際、有能かつ人格者だと感じて、率直にこの方々につなげるだけでも、充分な学びの収穫が見込めたこと。3つ目は、SCAで学ぶか、大学院で学ぶかを考えた時、自分はコンサル業務を含めて年間1000ケース以上、医療福祉の現場で支援を行っており、大学院で自分以上にケースをこなしている方に出会うよりも、SCAの方が現場実践のエキスパートと出会える確率が高いと判断したことです。

選抜生としてSCA全プログラムに参加させて頂き、同期の選抜生や運営スタッフと長い時間を共に過ごしました。その多くの時間は、自己覚知の時間だったと感じています。プログラムの最終日は、自分の学んだ総括発表として、私はウクレレを演奏しながら福祉を表現するという、かなり逸脱したパフォーマンスを選びました。参加者やスタッフは、それを笑ったり、咎める方は一人もいませんでした。私の狙いは、場の空気なんて読む必要なんかない。空気は壊して新しい空気感を自分が創れば良い！そんなSCAでの学びをパフォーマンスとして表現したつもりです。ソーシャルチェンジを志す上で、最大の失敗は、何かを怖れてチャレンジしないことだと思います。反省はチャレンジしてからいくらでもできると思います。

SCA選抜生を卒業して、約2ヶ月が経過し、私宛に東京都から医療福祉に関する施策の検討委員の委嘱依頼が舞い込んできました。メゾからマクロ視点に自分自身が自然とギアチェンジした証だと思っています。自分が成長を感じるよりも、周囲の関係者が、私の成長に気づいてくださる方が、ずっと早かったようです。これから私は、現場で1000ケースに向き合うソーシャルワーカーとして、東京都をより良くデザインするマクロのフェーズに入っていきます。ソーシャルチェンジという言葉に、刺激、予感、温かい何かを感じる方には、ぜひ、SCA選抜生のチャレンジをお勧めします。SCA選抜生の同志として、共に切磋琢磨して行きましょう！

■さん（行政機関勤務）

去年の今頃、わたしはSCAに参加すべきか否かととても迷っていました。仕事に忙殺されて疲れていたし、休日はできるだけ休みたいーと思ったり、こんな気持ちで意識高い人たちに囲まれて、最後ま

でついていけるかなあと不安に思ったり。でも、ソーシャルワーカーとして、日々のケースワークで理不尽な社会・制度を目の当たりにしながら、ソーシャルアクションができない自分に、とても不全感がありました。結局、1人ではSCAに参加する勇気がでず、同じ職場の先輩を誘い、恐る恐る2人で説明会に参加してみたことから、自分でも驚くほどわくわくした1年間の養成プログラムが始まりました。

応募する直前まで「選抜生」という言葉に正直とてもビビっていましたが、プログラムを終えて今思うことは、「選抜生に応募して本当によかった！」ということです。なぜなら、ソーシャルアクションに必要な知識・スキルを学ぶ一般向けパート以外に、選抜生だけが体験することができたりリフレクションパートがあったからこそ、わたしはSCAプログラムを通じてソーシャルワーカーとして「一皮向けた」と感じるすることができたからです！選抜生同士で経験を内省し合って、学びを深めて、自分だけでは気づけなかったことがたくさんあって、エンパワメントされまくって、これからの財産となるかけがえのない時間でした。SCAで素敵な仲間に出会えた結果、1年前の自分では考えられないほど能動的な自分に変われて、ソーシャルワーカーとしての自分に誇りを持って仕事ができるようになりました！SCA選抜生への応募をもし迷っているとしたら、とにかく説明会に参加してみてください！素敵な仲間と出会えますよー！一緒に社会を変えていきましょう！

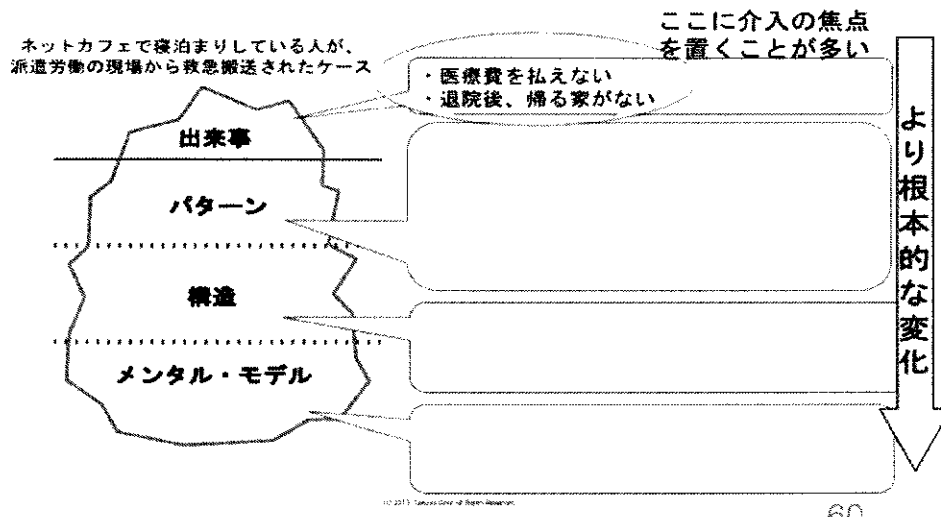
②「ラーニングラウンジ」の開催

Social Change Agencyに集う多種多様なメンバーたちの実践知を広く社会に還元するために開設。今年度は以下4回を開催。オンラインでの配信も実施。

1. ラーニングラウンジVol.1「ソーシャルワーク入門」
2. ラーニングラウンジVol.2「アセスメントトレーニング」
3. ラーニングラウンジVol.3「身体知を言語化するための経験学習」
4. ラーニングラウンジVol.4「スクールソーシャルワーカー×独立型ソーシャルワーカーの実践とその可能性」
5. ラーニングラウンジVol.5「個別支援から考える社会資源開発」

個別課題を起点に地域・社会にアセスメントの範囲を広げる

出来事だけをみていると対処療法的なアプローチに陥りがち
ソーシャルワーカーは個別支援を通して、出来事への対処を行うことが多い



③「コロナ禍でソーシャルワーカーができることを考える」の開催

新型コロナウイルスによって、私たちの生活が大きな変化を迫られる中で、ソーシャルワーカーにできることを考える材料を共有するという趣旨で2020年5月より表記イベントを完全オンラインで開催。月2回ほどのペースで開催し、700人ほどの参加者を得た。



コロナ禍でソーシャルワーカー ができることを考える

2020年5月9日 13:00@zoom

上記オンラインイベントを契機に、ソーシャルワーカーや対人支援職が地域の枠を超えて出来ることを考え、実行するための場づくりを行うこととなり、オンラインプラットフォームの開設に至った6/1より開始の予定となり100名以上の参加希望者を得た。

④他団体への研修提供

複数の団体からの研修提供依頼に対して、各機関のニーズに合わせた研修を提供した。

③.ソーシャル・リサーチ・プロジェクト事業

本年度は実施せず

④.ソーシャルアクション・サポート事業

ソーシャルワークの専門性を必要とする機関を対象に、ソーシャルワークの専門性を各機関に提供、社会に対するソーシャルワークの価値提供に努めた。コンサルティング、委託を受けた機関の現場でのケースワーク、アドバイスの提供など、各機関のニーズに合わせたサポートや協働事業も実施した。

⑤.その他

①.他大学や職能団体主催の研修等で研修講師や実践報告を実施

本年度も、社会福祉士を目指す専門学校や大学の学生向けの講義や職能団体における研修や講演などに~~〇〇〇〇〇〇~~が登壇し、法人として行う実践の共有に努めた。

②.新型コロナウイルスによる社会の変化への対応

新型コロナウイルス対策として実施されている「個人向けの」経済支援制度等について、以下取り組みを行った。

官民様々な主体が実施している支援制度をインターネット上で、Google社のサービスであるスプレッドシートを用いてまとめ発信するというプロジェクトを開始。

新型コロナウイルスの影響に伴う 経済支援制度等まとめ					
ファイル 編集 表示 挿入 表示形式 データ ツール アドオン ヘルプ					
名前 A B C D E F					
名称	対象となる方	概要説明	問合せ先	詳細/参考URL	更新日時
生活福祉資金	新型コロナウイルスの影響を受け、休業等により収入の減少があり、支援を必要とする世帯	少額（10万円～）の貸付を行います。	お住まいの市区町村の社会福祉協議会	https://www.mhlw.go.jp/conte nt/000613884.pdf?&cid=cw eAR34RUdxdeeeH07Zn5TKR vV5kOetWjNIXAFBdvysQ G3EveRBcAqKJEU	2020-07-17
傷病手当金	健康保険等の被用者保険の被保険者で、業務災害以外の理由により新型コロナウイルス感染症に感染し、療養のため労働に就することができない方 ※国民健康保険にはこの制度はありません	療養のため労働に就することができなくなった日から起算して3日を経過した日から労働に就することができる期間、直近 12 か月の標準報酬月額を平均した額の 30 分の 1 に相当する額の3分の2に相当する金額を支給	加入している健康保険の窓口	https://www.mhlw.go.jp/conte nt/000612737.pdf	2020-03-28
休業補償給付	労災保険加入者で、業務又は通勤に起因して新型コロナウィルス感染症を発症したと認められる方	労災保険給付の対象となった場合、以下の給付が受けられます。 【一定の要件】 ・雇内で就業する予定であった場合 ・業務委託契約等に基づく業務遂行等に対して報酬が支払われており、発注者から一定の指示を受けているなどの場合 ①又はその子どもの世話を行うことが必要となった保護者であって、一定の要件を満たす方 ②新型コロナウイルス感染症に関する対応として、臨時休業等した小学校等（※）に通う子ども ※小学校、義務教育学校（小学校課程のみ）、特別支援学校（高校まで）、放課後児童クラブ、幼稚園、保育所、認定こども園等	労働基準監督署	https://www.mhlw.go.jp/stf/seisaku/seisaku_0007.html#t=tsuketsuki&menu=1 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisaku/seisaku_0007.html#t=tsuketsuki&menu=1	2020-04-13
新型コロナウイルス感染症による小学校休業等対応支援資金（委託を受けて個人で仕事をする保護者の方向け）	①新型コロナウイルス感染症に関する対応として、臨時休業等した小学校等（※）に通う子ども ※小学校、義務教育学校（小学校課程のみ）、特別支援学校（高校まで）、放課後児童クラブ、幼稚園、保育所、認定こども園等	【支給額】 令和2年2月27日から3月31日までの間において、就業できなかった日について1日あたり、4100円 令和2年4月1日から9月30日までの間において、就業できなかった日について1日あた	学校等休業助成金・支援金等相談センター 0120-60-3999	https://www.mhlw.go.jp/conte nt/11909000/000639280.pdf	2020-07-17

発信方法はSNSでスタート（オンラインに限定されますが、SNSは費用がかからない広報の手段として容易に活用ができるため）

スプレッドシートの一覧は「集約」という意味ではよいが、情報を得る方の立場に立ったとき、見辛さがあったため。デザインファームのMaslow株式会社に相談し、記事化して視認性を向上いただく。

相談を受ける窓口で、相談に来た方に説明する、お渡しするにはチラシがよいのでは、ということで、シートを元に、東京都各区/神奈川県などの各地域ごとの支援策チラシを有志の方に作成いただく。

新型コロナウイルスの影響によって減収した方が活用できる支援策(●●●版)

作成日2020/4/7

■各省庁の総合案内

省庁名	タイトル	情報源	QR
首相官邸	お役立ち情報	https://www.kantei.go.jp/jp/pages/coronavirus_index.html	
厚生労働省	新型コロナウイルス感染症の影響を受ける働く皆さまへ	https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000612983.pdf	
経済産業省	新型コロナウイルス感染症で影響を受ける事業者の皆様へ	https://www.meti.go.jp/covid19/pdf/pamphlet.pdf	

■生活費

名称	問い合わせ先	支援内容	情報源	QR
生活福祉資金貸付制度	お住いの市区町の社会福祉協議会	休業や失業等により収入の減少があり、支援を必要とする世帯にの貸付(10万円～)を実施	https://www.mhlw.go.jp/content/000613522.pdf	
生活保護制度	お住いの市区町の福祉事務所	生活に困窮しており、厚生労働省が定める基準で決められる「最低生活費(生活するために最低限必要な費用)」より、世帯の収入が低い世帯に生活保護費を給付	https://www.nichi-benren.or.jp/library/publication/booklet/data/seikatsuhogo_qa_pam.pdf	

■ライフライン

種別	問い合わせ先	支援内容	情報源	QR
電気	「契約会社名 電気料金 コロナ 支払い」で検索	支払期日を1ヶ月繰り延べ、その後も、電気の利用者の状況に応じて柔軟な対応を実施。	https://www.meti.go.jp/press/2020/03/20200319008/20200319008.html	
ガス	「契約会社名 ガス料金 コロナ 支払い」で検索	支払期日を1ヶ月繰り延べ、その後も、ガスの利用者の状況に応じて柔軟な対応を実施。	https://www.meti.go.jp/press/2020/03/20200319007/20200319007.html	
水道	地域別の担当窓口と電話番号を記載	最長で4か月、支払いを猶予	地域別の水道局等のURL	

■家賃・住宅ローン

種別	問い合わせ先	支援内容	情報源	QR
住宅ローンの支払い	金融庁相談ダイヤル ☎0120-156811	個人の事業性ローン、住宅ローン等について必要な支援を実施	https://www.fsa.go.jp/ordinary/coronavirus202001/06.pdf	
住居確保給付金	地域別の担当窓口と電話番号を記載	離職または廃業をした方で常用就職を目指す方で条件に該当する方に基準に基づく家賃相当額を支給	https://www.mhlw.go.jp/content/000605807.pdf 地域別の担当窓口のURL	

2020年4月6日-14日

すでに法人向け支援情報サイトを作成されていたマネーフォワード社様に相談、オンラインでの打ち合わせを行い、個人向け支援情報を元にサイト公開に向けて協力させていただき、14日に「新型コロナウイルス 支援情報まとめサイト(個人向け)」をリリース。

[ホーム](#) [事業者向け支援](#) [個人向け支援](#) [お役立ち情報](#)

[主な支援から探す](#) [一覧から探す](#)

カテゴリ ☐ 生活費 ☐ 水道光熱費 ☐ 家賃住宅 ☐ 通信費 ☐ 学費 ☐ 保険料・税金

絞り込み

条件をクリアする

1 2 3 次へ 戻る

生活費

生活費の貸付（緊急小口資金）

対象 新型コロナウイルスの影響を受け、休業等により収入の減少があり、緊急かつ一時的な生計維持のための貸付を必要とする世帯

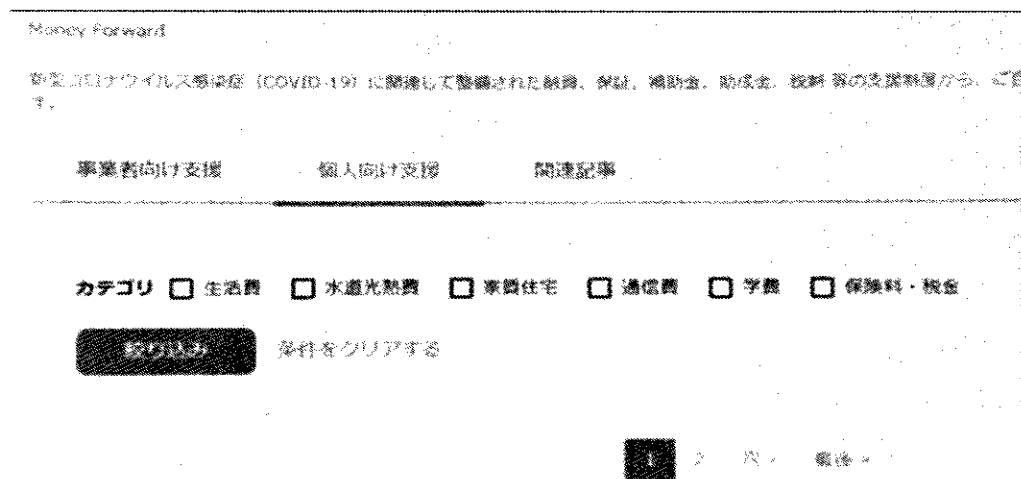
内容 少額の費用の貸付
貸付上限額：

NHKおはよう日本で取り上げられ、多くの方々に活用いただくことにつながった。

融資や助成金など支援策の検索サービス始まる 新型コロナ

2020年4月20日 8時11分

新型コロナウイルスに関連して用意された融資や助成金などさまざまな支援策のなかから、自分に適したものを探し出すことができる検索サービスが始まっています。



このうち、会計ソフトなどを手がけるIT企業の「マネーフォワード」は、自社のホームページで企業が受けられる支援策を絞り込めるサイトを開設し、このほど個人向けの支援策についても絞り込みができる機能を追加しました。

出典：<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200420/k10012395901000.html>

法人名：NPO法人 Social Change Agency

活動計算書

2019年6月1日 から 2020年5月31日 まで

(単位：円)

科目	金額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費		100,000	
2. 受取寄附金			
受取寄附金		107,086	
3. 事業収益			
事業収益	1,388,783		
受託事業収益	4,204,168	5,592,951	
4. その他収益			
受取利息		11	
経常収益計			5,800,048
II 経常費用			
1. 事業費			
(1)人件費			
給料手当	600,000		
人件費計	600,000		
(2)その他経費			
会議費	71,657		
旅費交通費	586,738		
通信運搬費	74,531		
消耗品費	63,635		
業務委託費	4,055,730		
謝金	677,586		
支払手数料	27,021		
地代家賃	630,420		
印刷製本費	2,320		
租税公課	1,000		
広告宣伝費	5,750		
その他経費計	6,196,388		
事業費計		6,796,388	
経常費用計			6,796,388
当期経常増減額			-996,340
税引前当期正味財産増減額			-996,340
法人税、住民税及び事業税			12,590
当期正味財産増減額			-1,008,930
前期繰越正味財産額			1,544,282
次期繰越正味財産額			535,352

法人名：NPO法人 Social Change Agency

貸借対照表

2020年5月31日 現在

(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	553,796		
流動資産合計		553,796	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			553,796
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	18,444		
流動負債合計		18,444	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			18,444
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		1,544,282	
当期正味財産増減額		-1,008,930	
正味財産合計			535,352
負債及び正味財産合計			553,796

法人名：NPO法人 Social Change Agency

財産目録

2020年5月31日 現在

(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
三菱東京UFJ（法人）電子証明書	525,342		
現金	28,454		
流動資産合計		553,796	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			553,796
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金			
ライフカード	18,444		
流動負債合計		18,444	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			18,444
正味財産			535,352

2019年度 年間役員名簿

2020年5月31日現在

特定非営利活動法人 Social Change Agency

[illegible]

社員のうち10人以上の者の名簿

2020年5月31日現在

特定非営利活動法人 Social Change Agency

	氏名	住所又は居所
1	横山 北斗	
2	金子 充	
3	飯島 大樹	
4	関野 沙月	
5	日下竹彦	
6	堀 祥子	
7	東樹 康雅	
8	柴原 崇	
9	横山 文枝	
10	横山 大輝	